

エッジコンピューティングにおけるセキュリティ課題分析

岡田 和也^{1,2,a)}

概要：5Gにおいて、端末により近い場所からサービスを提供するためにエッジコンピューティング技術が注目されている。従来のクラウドからのサービス提供と比べて通信事業者のコア、もしくは基地局に近いエッジ部分からサービスを提供することにより、低遅延で広帯域な通信を実現できる。現在、欧州電気通信標準化機構 (ETSI) の ISG MEC 分科会によりエッジコンピューティングのアーキテクチャ及び周辺技術の標準化が進められている。一方で、エッジコンピューティングを事業者網に組み込む際のセキュリティ脅威や対策についての議論は少ない。本発表では、冒頭でエッジコンピューティング技術の概要、標準化及び技術動向について紹介する。また、文献等の調査・分析から得られたエッジコンピューティングのアーキテクチャにおいて想定セキュリティ脅威について報告する。

¹ KDDI 総合研究所
KDDI Research, Inc., Fujimino, Saitama 356-8502, Japan
² 東京大学 情報基盤センター 情報メディア教育研究部門
Campus-wide Computing Research Division, Information
Technology Center, The University of Tokyo
a) ka-okada@kddi-research.jp